

ムラケン通信

2021. 8月 発行 Vol-195



夏山登山

木曽駒ヶ岳、千畳敷カール(宇野撮影)

7月のムラケンのデキゴト。



事務所庭の小さな畑。
夏野菜が沢山とれています。



半期に一度の研修です。
後期の方策を確認。



宿根草のブルーサルビア。
毎年きれいな花を咲かせます。



水野家、長女サラちゃん。
保育園の夏祭り☆彡



プロの技・リフォーム設計力
ムラケン
Renovation Professional skill

新型コロナウイルス撲滅祈念登山

「木曽駒ヶ岳」登山

毎年の夏の登山。今年も昨年同様、県内の山にするべきかとも考えたのですが、思い切って、新型コロナウイルスの撲滅を祈願して、三千メートル級の山に挑戦することにしました。場所は中央アルプス「木曽駒ヶ岳」です。三千メートル級の山は久しぶりで、脚力に自信がなければ登れないと思い、事前にこちら福井の低山を何度も登り、体力的な準備をしつかり整えて臨みました。

登頂前

登山日の前日、前入りで宿泊することにしました。目的地まで鯖江からは高速道路で車を走らせて四時間かかります。当日異動では体力が取られてしまう可能性があつたからです。さて翌日、早朝五時半にホテルを出発しました。登山道に行くには、近くの菅の台バスセンターから登山バスに乗り、しらび平駅で降車し、そのあとロープウェイに乗り換え千畳敷駅で降りると、そこからが登山道となります。いよいよ出発です。

登頂目指して

時刻は七時五〇分。朝食のおにぎりを一つ頬張りました。木曽駒ヶ岳は標高二九五六m、ここからは標高差三一〇m、約二・〇kmの道のりです。所要時間は往復三時間半かかります。決して若くない二人が登ります。ゆっくりと進んでいくよう心掛けました。心配なのは空気が薄いための息苦しさです。右手に広がる千畳敷きのお花畠を見ながら進んでいくと分岐点があり、そこからが八丁坂と呼ばれる急登が始まります。ジグザグに岩だらけの急な上り坂が続きます。何度も何度も休憩を取りながら登りました。正直息が辛くて止まってしまうのです。右手の斜面に広がるお花畠も、見とれる余裕がない状態です。

かれこれ一時間ぐらいかかつたでしょうか、乗越浄土と呼ばれる稜線にたどり着きました。ここで小休止。登山道は夏山のシーズン中にして



はあまり混んでいません。渋滞もせずに安心しました。登山者は年配の人が多いです。私より年上の七十代と思われるグループです。意外にも若いカップルも多く、小さな子供の親子連れも多いです。驚いたのは、八十歳は優に超えているであろう年配の女性が一人で登っていました。

そこから更に進み、三十分程で中間地点といえる中岳に到着。この山頂からは木曽駒ヶ岳がたおやかな山姿を見せてくれました。

小休止して、いよいよ頂上を目指します。中岳からいつたん駒ヶ岳の鞍部に下ります。そこから再び登り返します。三十分ほど岩場の階段を登ると、いよいよ木曽駒ヶ岳の山頂に着きました。時刻は十時四五分です。「山頂からの眺望は素晴らしい北アルプス、南アルプス連峰、八ヶ岳などのパノラマが広がる」と言いたかったのですが、あいにくガスが掛かっていて、それぞれの峰が時々合間に見える程度でした。

頂上には木曽駒ヶ岳神社があり、山の神々が祀られています。この山頂の宮にて改めて新型コロナウイルスの撲滅を祈りました。今回の登山の大きな目的の一つが達成されました。

山頂では持参のおにぎりを食べて、昼からの雨が心配だつたので早々に下山しました。下山は乗越浄土までは順調だったのですが、そこから八丁坂を下りるのは一苦労でした。こんな急な坂をよく登ってきたな、登りの時には感じなかつた下りの坂は恐怖です。

八丁坂を下り切ると、千畳敷まで戻つてきました。登りの時にはお花畠を見る余裕はなかつたのですが、この時は夢中でカメラのシャッターを切つていきました。ここからは登りの時には通らなかつた、千畳敷カールを歩きました。広がるお花畠と後ろにそびえたつ宝剣岳などの山々とのコントラストが艶やかです。その自然がもたらす美しさに感動しました。ここまで所要時間は約五時間でした。

1、日本のマスクの特徴は、「権力の監視」などと恰好のいいことと口にし、「自己陶酔」している。日本の政権批判なら何でも許される。なぜなら政権から反撃が来ることはないからだ。
2、日本のマスクが、報復をしてくる中国のような「強大な敵」と戦うつもりなど、もとより、日本のメディアには「ない」のである。マスクの報道のウラに何があるかを考えなければならぬ時代であることを強く認識すべきだろう。

私は、自分がどれだけ情報を掴み切れていないのか、いや掴む力がないのかを感じました。あらゆる観点から情報を見ることが出来る力を付け、また必要なことを集約することが大切で、そのことが正しい判断、方向性を出すことが出来ることだと感じました。また正しいことを伝えることも自分の役割であると感じました。



『社長コラム』～理念実践会報告～

世界が大きな流れに呑み込まれつつある。「新・階級闘争」。十一世紀の現在、二十世紀の一時期を席巻した「階級闘争」が世界各国の現実を学びました。そのことを内容と共に紹介します。

【新・階級闘争】 門田隆将

はじめに

1、「新・階級闘争」とは、かつての巨大な「階級」同士の闘いとはまったく違う。明確な搾取する側の「資本家」と、搾取され側の「労働者」のように位置づけられた闘いではない。それは、意識を植え付けることができるか否かにある。

3、ソ連崩壊後も、共産党一党独裁政権の中華人民共和国は生き抜いた。国家管理の下、自由経済を取り入れて、当初は安い労働力で世界と低価格による競争を行い、次第に外国の資本と技術を盗んだり、取り込んだりしながら、一党独裁政権下の経済成長という「奇跡」を実現したのである。

序章 メディアリンク 吊るし上げ時代

1、今回の場合、森氏と東京五輪に打撃を与え、できれば中止に追い込み、選挙で自民党を敗北させ、菅義偉首相を政権から引きずり降ろすことが目的である。朝日の記事はすべて「そこ」に向かっており、事実は都合よく変えられるわけである。
2、キヤンセル・カルチャード、あるいは過去の思想や発言の一つの侧面を捉えて糾弾し、その存在すべてを否定し、非難することである。
3、匿名は個人としての「羞恥心」を引き消す作用がある。一方、それが反比例して「攻撃性」を異常なほどに加速させる力がある。このキヤンセル・カルチャードが過剰な糾弾を呼び自殺に追い込まれる人も出てくるなど、大きな社会問題となってきたのは各国に共通する。

おわりに

1、日本のマスクの特徴は、「権力の監視」などと恰好のいいことと口にし、「自己陶酔」している。日本の政権批判なら何でも許される。

2、日本のマスクが、報復をしてくる中国のような「強大な敵」と戦うつもりなど、もとより、日本のメディアには「ない」のである。マスクの報道のウラに何があるかを考えなければならぬ時代であることを強く認識すべきだろう。

月刊ミス / 「ザ・現場管理月記」 VOL. 123

8月に入り暑い日が続きますね。特に暑い正午は街中に人が全く歩いていない光景を見て、何か変な違和感がしました。現場の職人さん達も汗ダクダクです。暑さにやられて高い所から落ちてしまわない様に、高所で作業する人には『十分休憩しながら。水分取って。気を付けて。』と口を酸っぱくして言います。

毎年、梅雨の終わりかけからお盆までのこの時期が一年で一番忙しいです。でも行くとこ行くとこで『こんな事で呼んでごめんねー』とか、『小さな工事だ

けどやってくれるかの一』とか、『こういう事って出来る?』とか、申し訳なさそうに依頼される事が多いです。新築やリフォームだけでなく、どんな小さな工事でも迅速に、そして完璧に対応するのが私の役目だと思います。そして、いかに最良かつ最小限で工事を行うか、それを考えるのも自分自身への挑戦だとも思っています。だから、いつでもどんな工事でも気軽に私に頼んで下さいね。

(水野勝志)



【外装工事】ムラケン通信の地域配布を見てお問い合わせ頂いた新規のお客様。立派な杉板張りの外観ですが、経年劣化により傷みが目立ってきたので塗装工事をさせて頂きました。合わせて雨樋の入替えもしました。



【ウッドデッキ修繕工事】こちらもムラケン通信地域配布からの新規のお客様。ウッドデッキが腐食してきたので修繕しました。土台や柱などは補強し再利用していますが、新品のウッドデッキによみがえりました。

【外構・カーポート工事】

コンクリートブロック造の車庫が壊んできたので解体しアルミカーポートに。合わせて傾きかけてきたブロック塀も解体し、立上りコンクリートを施工後、アルミフェンスを施工しました。とてもスッキリとした外観に。



～現在進行中の現場～

■2階の部屋の内装の修繕工事と合わせて断熱改修工事をしています。外壁回り土壁は残しながらカネライトフォーム断熱材を、天井には高気密のグラスウール断熱材を充填します。これで断熱性能がぐっと上がりました。



↑木造のベランダが腐食して危険なので解体し、アルミのベランダを施工します。大工さんに解体してもらいました。

↓コロニアル屋根と雨樋の修繕工事をしています。年数が経ったコロニアル屋根はコケや汚れで黒ずみ傷んでいました。屋根の高圧洗浄からしています。足場を組んだついでに合わせて、雨樋やベランダ屋根の入替えもします。



7月(6/21～7/20)完成のお客様

ありがとうございました!!

鯖江市土井様 ウッドデッキ修繕工事
鯖江市若林樹脂様 倉庫屋根雪止め取付け工事
鯖江市青山様 玄関屋根修繕工事
越前市山本様 ボイラー入替え工事
鯖江市大柳製本所様 公共柵蓋取替え工事
鯖江市山口様 玄関戸修繕工事
鯖江市鵜城様 勝手口アームストッパー交換工事
鯖江市松村様 外装工事
鯖江市関本様 車庫修繕工事
鯖江市山村様 カーポート工事
鯖江市舟津公民館様 修繕工事
鯖江市本法寺様 手摺取付け工事
鯖江市熊野様 スロープ取付け工事
鯖江市渡辺様 玄関網戸工事
鯖江市菅谷様 ボイラー入替え工事
鯖江市塚崎様 一般家庭ゴミ処分工事



編集後記

7月23日、東京オリンピックの開会式がありました。柔道、卓球、水泳、ソフトボールなど、この記事を書いている7月30日時点で金15、銀4、銅6個のメダルを獲得しています。

また今回のオリンピックでは空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの4競技が新競技として初採用されていて、スケートボードでは日本がメダルを獲得しています。

スポーツはいいですね。見ていてドキドキ、ワクワクします。ベテランから若い世代の人達が頑張っている姿は、私たちに夢や希望を与えてくれます。

(南部由希子)



■今まで2台の駐車スペースでしたが、前庭を解体し、3台止めるようにし、カーポートを設置しました。



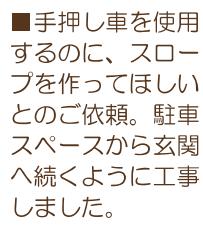
■玄関戸の軒先部分が傷んできたので、修繕しました。鉄板をめぐり木部をやり替え、鉄板を葺きました。



■玄関に網戸を新しく設置しました。玄戸を開けておくことができる所以風通しがよくなりますね。



■灯油ボイラーの取替え工事をさせて頂きました。



■手押し車を使用するのに、スロープを作つてほしいとのご依頼。駐車スペースから玄戸へ続くように工事しました。

ユキコの雑談

長男シユウトが高校へ入学して最初の保護者会がありました。1学期の間に入学時テスト、中間テスト、期末テスト、模試などありました。が、わりと良くできていたので、保護者会では勉強面も、生活面も特に問題はありませんでした。先生とは、主に大学に向けての雑談や部活動の話をしました。入学してから数か月たますが、クラスも部活動もすごく楽しいみたいで、この高校に入学してよかったですなあと思っています。

次男ミツキも中学校へ入学してから初めての保護者会がありました。偶然にも担任の先生は、長男が中学1年生の時の担任の先生で、同じ先生に会ってもらえるので、安心感があります。

保護者会では勉強も生活面も特に問題ないとのことでした。次男は消極的で大人しいので、入学前は生活面も勉強面も少し心配でしたが、意外にも大丈夫でした。勉強も問題ないし、新しく友達もできたみたいで安心しました。

子供は意外と成長していて、親が心配するほどではないのかかもしれませんね。

★お住まいのお困りことはムラケンへ★ (修繕・修理、何でもご相談下さい)

編集・発行

プロの技・リフォーム設計力
ムラケン
Renovation Professional skill

地域密着宣言 大家族主義

株式会社ムラケン 〒916-0056 鯖江市住吉町3丁目4-5 Tel.0778-52-6389
ホームページ <http://www.muraken.me> (ムラケンで検索)

